

令和4年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立常盤小学校	児童数	211
-----------	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.86	16.96	34.45	35.89	35.45	9.79	150.92	19.27	48.49
大阪市	16.11	18.44	33.14	38.26	42.95	9.59	148.22	20.07	50.83
全国	16.21	18.86	33.97	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
女子	14.92	17.16	40.49	35.79	28.62	10.07	142.17	11.64	51.01
大阪市	16.01	17.55	38.00	36.50	34.13	9.76	140.76	12.77	52.65
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31

結果の概要

体力合計点が男子が3.79ポイント、女子が3.3ポイント全国平均を下回る結果となっている。全国平均との差は縮まっている種目が多いものの、以前体力は低い現状がある。

しかし、「長座体前屈」は、男子で0.48ポイント、女子で2.31ポイント、全国平均を上回った。また、男子は「立ち幅跳び」で0.09ポイント全国平均を上回っている。これらの結果から、柔軟性に関しては男女ともに良好であると言える。

児童質問紙を見ると、質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、58.7%が「好き」と答え、「やや好き」と答えた児童との合計は86.4%と、全国平均と比べても高い水準である。一方で、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子11.9%、女子15.8%と、ともに全国平均より高い（多い）結果となっている。これは、地域的に運動ができる場所が少ないこと、本校が大規模校で児童数が多いことで、自分がしたい運動ができる場所や機会が限られていることが要因の1つであるとも考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

限られた教育資源の中、より多くの活動時間・運動量が確保できるように、体育備品の整備と整理整頓を日常的に行ったり、時間割の調整を行ったりしてきている。また、授業展開に関しては、授業の始めに授業の目標を示したうえで学習をスタートさせる、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行う、自分や友達の動きを確認するためにICT機器を活用するなどの工夫を行ってきている。これらの結果、「体育の授業は楽しいですか」「体育の授業では、たくさん動きますか」の質問に対して全国平均と同程度の肯定的回答を得るなど、取組の成果を確認することができる。

体育の授業以外にも、時期を決めてなわとび週間やかけあし週間を設けたり、放課後に運動場を開放したりするなど、日常的に児童が運動に親しめるようにしてきている。

児童の体力や運動能力は改善傾向にあるものの、引き続き児童の基礎体力・運動能力の向上、運動意欲の向上を図っていく必要がある。